

## 日本バイオレオロジー学会 35 周年記念シンポジウムのご案内

### “バイオレオロジーの新しい展開を目指して”

開催趣旨：日本バイオレオロジー学会は、故岡小天先生が発足されて以来、35 年が経過致しました。岡先生は、生体物質の流動と変形の問題に関して、医学生物学、食品及び理工学に渡って分野横断的に議論して、新しい学問分野を開拓する事を提唱されました。35 年の間、学会は色々な変遷を辿りながら、現在に至り、多くの先生方のご尽力によりまして、学会が特定非営利活動法人として組織化され、さらに英文ジャーナルを発刊して、多くの優れた論文を世界に発信する事が出来ております。そこで、バイオレオロジー学会の今後の新しい展開を目指して、記念シンポジウムを開催致します。多くの方々にご参加を賜りたくご案内申し上げます。

日時：平成 24 年 11 月 30 日（金）午後 1 時～5 時 25 分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール（東京都港区三田 2-15-45）

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

参加費：無料

#### 講演

13:00 - 13:10 開会の挨拶

13:10 - 13:50 「血小板細胞からみたバイオレオロジー」 東海大学医学部内科学系（循環器内科）教授 後藤信哉

13:50 - 14:30 「Uniform stress hypothesis は正しいか？微視的視点から見た大動脈壁内力学環境の不均質性」 名古屋工業大学おもひ領域 教授 松本健郎

14:30 - 15:10 「細胞培養実験のためのバイオ MEMS デバイスの開発」 北海道大学大学院工学研究院教授 大橋俊郎

15:10 - 15:20 休憩

15:20 - 16:00 「マイクロカプセルの形成と機能発現に関わるレオロジー」 群馬大学大学院工学研究科教授 土橋敏明

16:00 - 16:40 「なぜ高い骨密度でも骨折するのか？—骨密度と骨質からみた骨粗鬆症病型分類と治療法の最前線—」 東京慈恵会医科大学整形外科准教授 斎藤充

16:40 - 17:20 「分子会合体によるソフトマターのレオロジー」 酪農学園大学農食環境学群教授 金田勇

17:20 - 17:25 閉会の挨拶

懇親会：17:30～19:30 慶應義塾大学ファカルティクラブ（シンポジウム開催のホールの隣）

参加費：3000 円